

社 会 学 部 報

◇学部研究会

- 57 年 10 月 27 日 発表者 真鍋一史教授
「SRC 全米選挙調査磁気テープ・データの内容と利用手続」
- 57 年 11 月 24 日 発表者 R. ガーバー客員教授
「産業社会における福祉政策」
- 57 年 12 月 8 日
発表者 C. J. ヒューストン客員教授
「Speculation on the Myth of the Irish in the United States and Canada」
- 58 年 1 月 26 日
発表者 ジェフィリ・ライツ教授
「社会調査法のカナダ・アメリカの比較」

◇会員の新著

- 安田三郎教授 「社会調査ハンドブック」(共著) 昭和 57 年 12 月 有斐閣

◇海外出張

- 加藤春恵子教授 昭和 57 年 11 月 13 日から 11 月 22 日まで「女性問題に関するアジア・太平洋地域の研究者の国際会議」に出席のためアメリカ・ハワイ州へ。
- 宮田満雄教授 昭和 58 年 2 月 24 日から 3 月 3 日まで「世界 YMCA 同盟難民救済委員会」に出席のためジュネーブへ。

学会消息

◇カルヴァン研究国際学会 (Congrès International de Recherches Calviniennes)

カルヴァン研究国際学会第2回大会が1982年9月6日から9日まで、スイス、ジュネーヴ大学神学部において開催され、本学からは森川 甫教授が出席し、討議に参加した。

◇ポール・ロワイヤル学会 (Société des Amis de Port-Royal)

ポール・ロワイヤル学会1981-82年年次大会が1982年9月24日から26日まで、南フランス、アレット、Hôtel de l'Evêchéにおいて、「ジャンセニズムと司教座」の主題の下に開催され、本学からは森川 甫教授が出席し、討議に参加した。

◇日本社会学会大会

第55回日本社会学会は、1982年10月9日(土)、10日(日)の両日、神戸大学で開催された。

本学からは、余田博通教授が農山漁村Ⅲ、領家穰教授が差別問題Ⅰ、中野秀一郎教授が社会心理・社会意識Ⅰでそれぞれに司会にあたった。

海野道郎助教授は、社会学研究法の部会で「個人の決定と社会的決定(3) 時間不変不均質社会の分析 - その2 -」、差別問題Ⅱの部会では、鏡豊氏とともに「マイノリティー・マジョリティー過程の理論的分析 その1、集団間関係に影響を及ぼす基本的変数の特性分析」について共同発表した。

博士課程修了者の藤原英男氏は、基礎理論Ⅰの部会で「パーソンズの1953年のシンボリズムと型の変数」について発表し、柳原佳子氏は、青年問題の部会で、「おとなの時間と子どもの時間 - 子どもの未来の「予測可能性」をめぐって -」について発表し、また、同部会で、本学の西川美紀氏(現、福井医科大学)とともに、「中学生と家

族関係 - 兵庫・大阪・京都・奈良の場合」について、共同発表した。

なお、萬成 博教授は日本社会学会理事に選任された。

◇数理社会学研究会

数理社会学研究会が1982年10月10日と11日の両日、新大阪のサニーストン・ホテルにおいて行なわれた。本学からは海野道郎助教授が参加し、発表と討議を行なった。

◇日本広告学会

日本広告学会第13回全国大会が昭和57年10月21日(木)から23日(土)まで、横浜商科大学において開催された。本学からは真鍋一史教授が学会研究プロジェクト報告の部門で「広告の文化的側面をめぐる研究」に名を連ねた。また真鍋教授は22日の総会で学会の評議員と論集編集委員に選任された。

◇日本新聞学会

1982年度秋季研究発表会は、11月13日(土)、東京・早稲田大学にて開催された。個人研究発表の他、ワークショップ「コミュニケーション政策を考える」および「大衆文化を考える - メディアと大衆文化・その1 -」が開かれた。本学部からは、津金沢教授、芝田専任講師が出席した。

◇国立民族学博物館特別研究シンポジウム

国立民族学博物館特別研究「現代日本における伝統と変容」シンポジウムが、1983年2月8日から10日まで、大阪・千里の国立民族学博物館で開催された。今回はとりわけ「暮らしの美意識」をめぐって、民族学、文化人類学ばかりでなく建築学、衣服学、社会心理学、社会学などの立場からも学際的に検討された。本学部からは、津金沢教授が「メディアの社会史と『暮らしの美意識』」のテーマで研究報告を分担し、討議に参加した。

◇国際人間工学会

本学の杉山貞夫教授は英国で刊行されている人間工学関係の学術雑誌Applied Ergonomicsの編集顧問に就任した。また同教授はウィーンの国連事務局にあるNon-Governmental Organization (NGO)の代表に選ばれ、同事務局のCenter for Social Development and Humanitarian Affairs (CSDHA)の活動に関わることになった。

執 筆 者 紹 介 （ 掲 載 順 ）

ウィリアム F. ホワイト	コーネル大学名誉教授	遠 藤 惣 一	社 会 学 部 教 授
中 野 秀 一 郎	社 会 学 部 教 授	西 山 美 瑳 子	社 会 学 部 教 授
大 道 安 次 郎	名 誉 会 員	海 野 道 郎	社 会 学 部 助 教 授
定 平 元 四 良	社 会 学 部 教 授	浅 尾 浩 一	社 会 学 部 学 生
森 川 甫	社 会 学 部 教 授	浅 海 一 幸	社 会 学 部 学 生
W.B. デーヴィス	社 会 学 部 教 授	安 東 美 由 紀	社 会 学 部 学 生
松 田 健	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 前 期 課 程	上 新 広	社 会 学 部 学 生
杉 原 方	社 会 学 部 教 授	大 野 純 子	社 会 学 部 学 生
高 田 真 治	社 会 学 部 助 教 授	宮 永 一	社 会 学 部 学 生
真 鍋 一 史	社 会 学 部 教 授	吉 田 さ と み	社 会 学 部 学 生
牧 正 英	社 会 学 部 教 授	山 中 速 人	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 前 期 課 程 終 了

社 会 学 部 研 究 会 々 員

会 長	武 田 建		
評 議 員	牧 正 英	杉 原 方	領 家 穰
	杉 山 貞 夫	春 名 純 人	真 鍋 一 史
会 計 監 査	森 川 甫	西 山 美 瑳 子	
書 記	石 井 佐 兵 衛		
名 誉 会 員	青 山 秀 夫	大 道 安 次 郎	藤 原 恵
	小 関 藤 一 郎	蔵 内 数 太	岡 村 重 夫
	清 水 盛 光	栃 原 知 雄	（ A B C 順 ）
普 通 会 員	余 田 博 通	田 中 国 夫	西 尾 朗
	定 平 元 四 良	嶋 田 津 矢 子	萬 成 博
	本 出 祐 之	倉 田 和 四 生	半 田 一 吉
	遠 藤 惣 一	佐 々 木 薫	中 野 秀 一 郎
	張 光 夫	中 山 慶 一 郎	J. A. ジ ョ イ ス
	宮 田 満 雄	船 本 弘 毅	津 金 沢 聡 広
	紺 田 千 登 史	村 川 満	安 田 三 郎
	W. B. デーヴィス	加 藤 春 恵 子	山 路 勝 彦
	海 野 道 郎	山 本 剛 郎	高 田 真 治
	安 藤 文 四 郎	芝 田 正 夫	

関西学院大学社会学部研究会会則

- 第 1 条 本会は関西学院大学社会学部研究会とよぶ。
- 第 2 条 本会は社会学および隣接諸科学の研究ならびに会員相互の交流を計ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は上記の目的を達するために次の事業を行う。
- 1 機関誌「関西学院大学社会学部紀要」の発行
 - 2 研究会および講演会の開催。
 - 3 研究叢書の刊行。
 - 4 その他本会の必要と認める事業。
- 第 4 条 本会の会員は次の 3 種とする。
- 1 名誉会員 本会の特に推薦するもの。
 - 2 普通会員 本会社会学部専任の教授、助教授、講師および助手。
 - 3 賛助会員 以上の外申込のあったもの。
- 第 5 条 普通会員は年額 19,200 円、賛助会員は年額 10,000 円以上の会費を納めなければならない。納付済の会費は返還しない。
- 第 6 条 本会員および本会社会学部大学院生・学部学生は機関誌の配布を受ける。学生の講読費は昭和56年度入学生より年額 1,600 円とする。
- 第 7 条 本会に次の役員をおく。
- 1 会長（1 名）は、社会学部長をもってあてる。
 - 2 評議員（6 名）は、普通会員の中から互選し、本会の運営に当る。
 - 3 編集、会計、庶務の各委員は、評議員の中から互選する。
 - 4 会計監査（2 名）は、普通会員の中から互選する。
 - 5 書記は、社会学部事務長に委嘱する。
- 第 8 条 本会役員の任期は 2 年とする。重任を妨げない。
- 第 9 条 本会会計年度は 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。予算・決算は総会の承認を得なければならない。
- 第 10 条 総会は毎年 1 回とし、本会の重要事項を議決する。臨時総会の開催を妨げない。
- 第 11 条 本会は事務所を本会社会学部におく。
- 第 12 条 本会会則の変更は総会の議決によらなければならない。

58年3月1日 印刷

58年3月22日 発行

編集発行人 武 田 建

発 行 所 関西学院大学社会学部研究会

〒662 西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学社会学部内

電話(0798)⁽⁵³⁾6111(代表)

(内線) 4212

印 刷 所 株式会社 千 葉 出 版

〒652 神戸市兵庫区荒田町1丁目12-8

電 話 (078)531—4789(代)

KWANSEI GAKUIN

SOCIOLOGY DEPARTMENT STUDIES

(SHAKAIGAKUBU-KIYO, KWANSEI GAKUIN DAIGAKU)

No. 46

March 1983

The Study Association of Sociology Department

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

Nishinomiya, Japan
